

平成 8 年 5 月 7 日 発行

上智大学英語学科同窓会
東京都千代田区紀尾井町 7-1
上智大学英語学科事務室 発行**Sophia English Language Department Alumni Association****The Message from Fr. Everett**

I was very happy when Prof. Togo asked me to write something for SELDAA. It gives me an opportunity to reopen lines of communication with 29 years of graduates (from 1958 to 1987) - the "Golden Years" of the Eng Lang Dept, as people of that generation tend to think.

First of all, I'd like say a few words of congratulations to the officers of SELDAA who are doing such fine work to keep the spirit of unity, cooperation, friendship alive among the more than 5,000 graduates, and to the editors of this newsletter. Looking through it, I feel so proud of all graduates and the important roles you are playing in society. I hope that students are reading it to learn of the wonderful work being done by their seniors.

Fr. John McKechney, one of the pillars of the Eng Lang Dept, died on Jan. 29, so I'd like to express our thanks here briefly for his long years of devoted service. Jack was born in Chicago in 1913, became an SJ in 1933, a priest in 1946, and came to Japan in 1947.

He was given only a short time to study Japanese, then was sent to Sophia where he became Prefect of Aloysius Dormitory, an English teacher by day and a teacher of American History by night in the International Division. Jack had always been a great baseball player so within a short time he was coach of Sophia's nine. Jack himself once took the mound for Sophia against a strong GI team and pitched Sophia to a no-hit win. Some years later he helped another student club by playing the lead part of Willie in "The Death of a Salesman" under the direction of Don Mason.

Jack's greatest contribution to our dept was the organization of a summer English Study Tour to the US with emphasis on homestays. In later years students could enjoy 3-day homestays in over 20 different major cities during this super tour. This continued for over 15 years, with all the organizational work being done by Jack - one of his hidden services for Sophians.

Jack was a very good, but a very strict teacher. He prepared his classes well and expected his students to do likewise. He was a very brave and very humble man who had courage to make and carry out decisions, no matter how difficult they might be. He was a real man! All of us wish to thank Jack for his generous service and fine example.

As for myself, after five years of teaching at Seibo Women's Junior College in Kyoto, I returned to SJ House in 1992. Being over 70 I could no longer teach, so I began to do work of a more priestly nature. From this April I became a full-time helper at St. Ignatius Church.

I'm looking forward to seeing many of you on All Sophians Day. Please drop by for a visit any time you're on campus. I'd really enjoy hearing about the experiences and insights you've had since graduation. I promise to be a good listener. Till then....

「超新人類に悪戦苦闘中！」

東京国際情報ビジネス専門学校講師 隅田恭子(昭和47年卒)



ワンレンの長髪が覆う机上に、ピピッ、ピピッ、ピピッ！ 電子音がけたたましい。デートの予約でも入ったのだろう。鉛筆の手を止めてメッセージを読む方が先決だー私が講師を勤める専門学校の期末試験での光景である。今や半数近い生徒が持つポケベルが、時々授業中にも鳴り響く。

そんな彼女たちの英語力は驚くばかりにお粗末だ。語学専門校ではないので、英語はそもそも苦手らしいが、高卒の英語がこの程度だという事実は中学・高校での英語教育の問題点を伺わせる。相変わらず、難解な文法の押し付けと詰め込みばかりなのだろう。

そこで今学期は教科書を離れ、グループごとに場面を設定させ、会話を組み立て演じさせる試みをしてみた。生徒が主体的に参加できる授業は皆喜々として、得るところが多かった。今後の課題を考える上で参考になった。

職場では超新人類の生徒たちと、家ではその予備軍の小学5年になろうとする娘と悪戦苦闘しながら、細く長く執筆活動を続けている。一年余り前、十年間の作品をまとめ念願の随筆集を上梓した。要領の悪い私はあちこち回り道ばかりしてきたが、文章を書く上ではそれがプラスになったかと、ようやく思えるようになってきたこの頃である。梅の香る季節、第30回関西文学賞受賞のニュースを受け取ったばかりである。今後とも応援をよろしくお願いいたします。

(「麦を踏む女」 今井恭子著 関西書院)

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------------|---------------|-------------|----------------|---------------|------------|------------------|------------|--------------|----------------|-----------------|--------------|----------------|-----------------|--------------|-----------|------------------|----------------|--------------|-----------------|----------------|-------------|------------------|--------------|--------------|------------------|----------------|---------------|---------------|---------------|------------------|-----------|------------------|------------|-----------------|-----------------|-----------------|---------------|------------------|------------------|-------------------|------------------|------------------|-------------------|------------------|-----------|
| 津吹 智義 東芝 | 内田みちる 東京三菱銀行 | 山村 直子 日本通運 | 山崎 智之 国際輸送事業部) | 吉岡 清訓 全国朝日放送 | 山崎 吉弘 三菱商事 | 阿部 岳 日興證券投資信託委託 | 安藤 友美 双葉社 | 東 伸一 中日新聞社 | 原 道直 住商オートー | 林 眞砂子 日本トランスシティ | 石井佳奈子 日本航空 | 金子 義信 サックス証券 | 北川由紀子 プリティッシュ・ | 北村明日香 エアウェイズ | 栗 哲也 SMC | 黒木 晴美 グリーンディスプレイ | 前原 航介 エヌ・エイ | 南出康一郎 ジャルパック | 宮井利恵子 アンダーソン・ | 宮田 静香 毛利法律事務所 | 森 健一郎 第一ホテル | 森 奈津子 オリンパス | 西原 弘子 アスキー | 沖山 直子 ソフトバンク | 佐藤 亜紀 アメリカ大使館 | 坂田眞理子 東京海上火災保険 | 佐藤 眞由美 主婦と生活社 | 柴田 桂 日本コカ・コーラ | 真宅 俊寛 興亜火海上保険 | 高橋 三奈 オリエンバス光学工業 | 右ノ子友哉 CSK | 鷺尾 郁 東映 | 山崎 勉 ケーユー | 横倉 純子 コリス・アンド・カ | 内藤 弘美 パニー・リミテッド | 合澤 栄美 プレナム・ジャパン | 合澤 栄美 国際協力事業団 | 藤田 真弓 ジョルジオアルマーニ | 稲田 清英 日本経済新聞社 | 加藤 一紀 森水乳業 | | | | | |
| 木瀬亜衣子 アンダーソン・ | 小林 美穂 毛利法律事務所 | 栗原 正一 全日空運輸 | 栗原 正一 学習研究社 | 満岡 文彦 ジェーシービー | 森 幹夫 埼玉興業員 | 森島 亜紀 アイデア・インスティ | 村井 晶子 テュート | 中村 眞理 日本放送協会 | 根本 麻穂 読売新聞東京本社 | 小幡 薫 キリンビバレッジ | 岡本 太郎 第一生命保険 | 大橋 悦夫 エム・アイ・ティ | 大森 潤子 日本ヒューレット・ | 佐取めぐみ パッカード | 渡田 綾 大和総研 | 下里 彩子 パーニーズ・ジャパン | 武部 宮子 富士通ラーニング | 谷 有子 時事通信社 | 手島 光司 西村眞田法律事務所 | 宇佐見英司 大阪星光学院教員 | 山本 圭太 富士通 | 山下 久美 日本ベブシコボトリン | 矢野 博之 グランパニー | 鈴木美奈子 大塚商会 | 青木 麻美 キャピタル・インター | 竹内 久佳 ナショナル | 青木 麻美 ナショナル | 日本航空 | 日本航空 | チユリッヒヒンシュ | アランスカンパニー | 相川 直子 ワールド航空サービス | 藤田 綾乃 医学書院 | 村上 朋子 NHK情報ネット | 上野 雅志 NHK情報ネット | 中川千帆 △進学V | 南部潤 吉田崇史、金山 | 正志、山守由香、吉村明子、江目ま | ゆみ、佐々木古郎、塚本眞理子、山 | 田雅浩、横山史朗、清水剛、小林剛、 | 有路憲一、菅川雅志、三井亜矢子、 | 大川多美子、中野陽、菅藤雅子、石 | 川佳織、董忠義、窪井孝子、高橋克、 | 印東美佳、菅藤真紀子、工藤容子、 | 野口啓子、坂口弘一 |

「こちらプラハ……。」

国連勤務 川西正人(昭和62年卒)

プラハの我が家で。一歳半になる息子の運と。そっくりとよく言われます。



いまチェコのプラハにいます。昨年転職して、国連アソシエイト・エキスパートとなり、この地で環境問題に取り組んでいます。新しい職場は、チェコ・クリーナー・プロダクション・センターといいます。クリーナー・プロダクションというのは、汚染物質の発生を未然に防止することに配慮した、環境にやさしい生産プロセスのことをいい、センターは、デモンストレーション・プロジェクトや人材トレーニング、それに政策の提言を通して、その普及に務めています。国連環境計画(UNEP)と国連工業開発機構(UNIDO)が共同で支援するプログラムで、センターには、国連から、私一人が派遣され、駐在しています。あとのスタッフは、全員が現地のチェコ人です。センターで私に求められている大きなテーマは、環境投資のファイナンスのあり方について、政府や金融機関と協力しながら、その枠組みを作っていくことです。

今回の転職は、民族や国籍の異なる多様な人たちに交じって、力を試してみたいという単純な動機によるものでした。環境問題に携わることができたのは、それが、グローバルなパートナーシップが強く求められる分野だという点で、幸運でした。特に陸続きのヨーロッパでは、各国が単独で解決できる範囲が限られているため、政府や企業・大学、それにNGOや国際機関の間で、国境を越えた交流が極めて旺盛です。そのファミリーの輪に、日本人でいてプラハに住む私は、暖かい好奇心をもって、迎えてもらっています。

長くても来年9月までの短い任期ですが、それまでプラハで、この新しい仕事を大いにエンジョイしようと思っています。

1996年
(平成8年)
英語学科卒業生就職先
(上智大学通信より転載・順不同)

- | | | | |
|-------|------------|-------|--------------|
| 吉野 朋子 | バップ | 勝又 綾子 | 日本電信電話 |
| 古川 幸夫 | 岩手県高校教員 | 風間 徹 | 興和 |
| 西出 尚浩 | 日本A T & T | 古池 倫子 | 百五システム開発 |
| 阿川 淳之 | 日本航空 | 松野 安純 | ジャック |
| 平田 剛 | 野村證券 | 松川 有紀 | 高砂香料工業 |
| 今西 由加 | ソニー・ミュージック | 宮田 利恵 | 富士銀行 |
| 加納 君彦 | クエンタインメント | 宮田 景子 | 横浜銀行 |
| 木谷 徳人 | 日本貿易振興会 | 森岡 照子 | 豊田自動織機製作所 |
| 坂倉真木子 | 住友銀行 | 中島 由夏 | 長瀬産業 |
| 吉川 明子 | 三井物産 | 野村 直人 | 日本アジア投資 |
| 後藤佐和香 | 中国放送 | 小澤 由 | インドネシア石油 |
| 木村 良寛 | 共同通信社 | 小澤 由 | 国際デジタル通信 |
| 千 映 | 日本旅行 | 須賀 彦太 | 山下由美 |
| 先田 久美 | アスク講談社 | 所 隆行 | 日本コダック |
| 法元 剛 | TBS東京放送 | 藤堂 浩一 | 村田製作所 |
| 川本 真 | 雄松堂書店 | 鳥居 広治 | アイ・エヌ・エイ |
| 越野 功子 | 西村眞田法律事務所 | 矢野 聖子 | ジャストシステム |
| 野崎 正人 | セガ・エンター | 中島 千絵 | 三井物産 |
| 中村 美絵 | プライゼス | 立和名譽子 | 札幌テレビ放送 |
| 高田真紀子 | ガリバーズトラベル | 古川 英博 | 外務省 |
| 草ヶ谷達也 | エージェンシー | 原 由羽子 | 博報堂 |
| 坂倉和智 | 日本放送出版協会 | 広田 操 | ヒューマンサイエンス |
| 藤水 健志 | 日本旅行 | 笠井 登武 | 東京海上火災保険 |
| 古田 到 | 日本ビクター | 川久保多恵 | 日本電信電話 |
| 二川実佐子 | 日商岩井 | 川添依里子 | 東芝 |
| 廣瀬由美子 | 丸三証券 | 北野 朋之 | ロイター・ジャパン |
| 保坂菜穂子 | 日本国際協力 | 小室 朋美 | 日本モトローラマイクロ |
| 石戸 大滋 | ジャルパック | 森 彰子 | エレクトロニクス |
| 伊東 裕人 | 野村證券 | 村上みのり | コメルツ銀行 |
| 櫻田 充代 | 日比谷花壇 | 中桐 直子 | サンカルズ・トラスト |
| | | 中野 智彦 | バンク東京支店 |
| | | 成井志壽子 | シンコー・ミュージック |
| | | 小楠 智彦 | リード・エグジビション |
| | | 齋藤 幹雄 | 住友クレジットサービス |
| | | 坂本千恵子 | どうきょう |
| | | 佐藤 和美 | 日本国際協力センター |
| | | 末弘 陽子 | ダイエー |
| | | 田代 智志 | 虎屋 |
| | | 富樫信一郎 | 日本サテライトシステムズ |

卒業生短信

前号(Vol.21)の会報をお届けした際、同封の葉書にて会員の皆様方の最近のニュースを募集しましたところ、十数名の方から御返事がありました。今回は3月末までに事務局に到着したお便りをご紹介します。

◆'95年10月にドイツ駐在となり赴任いたしました。

会社はやや離れていますが、住まいはフランクフルト市内ですので、欧州に御出張の際等にはご一報下さい。

TEL: オフィス 049-6252705101
(SUZUKI MOTOR GmbH
DEUTSCHLAND)
自宅 069-5485272
河原伸一 (昭和53年卒)

◆高校生の娘が見ているTVドラマのバックミュージックに私達の学生時代に親しんだSIMON & GARFUNKELやCARPENTERSが流れている今日この頃、「この曲は25年前にもトレンドーだったのよ」と自慢する団塊世代の母親です。全体像はおばさんになっても、「自分はまだまだ若い」と思いこんでいる脳細胞があるらしく、パート先(非常勤講師)の学校でも、生徒たちとは友達みたいです。女子校に加えて、3年前からある男子校でも教えてますが、いっくら発音練習をしても、英語は全部ローマ字読みにしてくれる中一男子達を相手にrole play指導にも挑戦しております。目標は、流ちょうな英語をあやつる上智英語科男子です。

一年前、趣味のテニスで、意外な出会いがありました。私の習っているテニススクールに上智大からアルバイト・コーチが二人来たのです。残念ながら、経済学科と新聞学科の男子ですが、大した事ないと言われてきた上智のサークルにもこういう逞しい学生がいてくれて非常に嬉しい出会いでした。彼らは就職氷河期を乗り切って、

新聞社等に内定をもらい、現在嬉しそうにコーチしてくれています。英語科の就職、特に女子はどのようなかしら?

昨年5/28のSELDAA総会では、六鹿(河野)さんの娘さん(1歳)に会えて感激。昨春、商英サークルも20年ぶりの同期会、夏にはオーストラリアで、エミ・スクリプチャックさんや、日下(小野)より子さんともお会いしました。48年卒はみな元気です。

門多三恵子(旧姓曾根) (昭和48年卒)

◆昨年10月末山口県光市に引っ越しましたのでお知らせします。40年住み慣れた神奈川を引き払い、故郷の地へ帰りました。瀬戸内海国立公園室積海水浴場を眼下に望み、我が家から瀬戸の小島の点在するのが見られます。東京生まれ、東京育ちの妻も娘も、「人も気候も暖かく、物価が安く生活しやすい」ことに満足しています。地元の話では、真冬でもコートや手袋が不要とのこと。庭の草花もよく育つ様です。

当地にはまだソフィア会がありませんが、そのうち消息を尋ねて設立されればと思っております。

山本哲生 (昭和33年卒)

◆昨年の11月に南雲堂出版社より「アメリカでホームステイする英語」(田村智子著・監修)を出版いたしました。この本にはカセットテープもついております。一応高校生のホームステイの疑似体験的な会話がベースですが、その他に、相手を納得させる方法として、英語における reasons, examples, and data の使い方や

サバイバル(病気、安全)英語、それに日常使われるスラング等も盛り込んであります。12月に吉田研作先生に1冊お送りいたしましたので、一度ご覧になって下さい。できれば次号のSELDAAで紹介していただければ幸いです。

田村智子 (昭和60年卒)

◆5月の総会にお邪魔した時は、前の仕事を辞めたばかりでしたが、おかげ様で無事転職致しました。それはさておき、私達の年次の卒業生は、大学から足が遠のいているのも無理からぬことですが、お互いの消息も風の便りに聞く程度です。同窓会やソフィア会の会報が唯一在学当時を思い出させてくれるよすがとなっています。お世話になった先生方の名前を拝見したりするととても懐かしいものですね。卒業生のコミュニケーションの場にもっと参加させて頂こうかなと思っております。

足利香里 (平成3年卒)

◆卒業してからもう20年目になり、いつも送って頂いている会報を読む度に、懐かしい気持ちになります。事務局のスタッフには、いつも感謝の念で一杯です。No.21の会報にあるように、郵便局に出向くのがつい億劫で、今まで会費等の納入をしておりませんでした。終身会員制度で、解決されましたので、ようやく重い腰を上げて振り込みます。長い間の滞納をお詫び申し上げます。特に連絡先の事務室の箇所に、本田由美さん(旧姓三辺由美さん)の名前を見る度に、在学当時SETSでお世話になっていた本田さんのご

主人を始め、皆さんの顔が思い浮かんで来て、一層、滞納への反省をしておりました。

前学科長の草深さん、現学科長の吉田研作さんの20年前の顔はまだ良く記憶しております。皆様の今後ますますのご活躍を祈念しております。

岩崎重雄 (昭和51年卒)

◆平成7年9月末で還暦を迎え、時事通信社を定年退職しました。編集局記者として、官庁と地方自治体を結ぶ地方部(現・内政部)、外信部、都道府県記者室、厚生省詰めめの記者、横浜支局、南米のリマ特派員(1968~72年)、帰国して外信部に一年勤務して、出版局に移りました。出版局では、世界週報に12年、図書編集部、教育編集部、出版編集部で専門学校ガイドを取材編集しました。

編集局で15年、出版局で22年と出版局の方が長くなりました。国内、国際関係、専門学校と幅広く勉強できたことをありがたく思っております。英語学科SELDAの輪が広がるように祈っています。

佐々木寛 (昭和34年卒)

◆しばらく子育てに専念していましたが、去年から翻訳の仕事をポツリポツリと始めました。(ちょうど今、初の訳書が出たところです。「カーニバル・ナイト」ハーレクイン社刊。)上の子が小3、下の子が年中組。あと少しで2人とも小学生。少しずつ仕事も増やして…と思ったとたん、オオッ、3人目がお腹に。でもいいんです。みんな赤ちゃんを楽しみにしていますから。カメのように地道に歩んでいきたいと思っています。

内藤文子 (旧姓 奈良) (昭和58年卒)

◆卒業後JALの成田空港支店で丸3年働いた後、平成4年の6月に結婚退職してシアトルへ…。平成5年の4月に長女の早紀が誕生、平成7年3月に帰国し、現在仙台に住んでいます。今は育児サークルの会計をしたりと、けっこう忙しい毎日を送っています。

親友の最新ニュースと言えば、大石りかさんが1月に結婚します!りか、おめでとう!!

平成元年卒の50クラスの皆さん、仙台の方へお越しの際には、ぜひご連絡ください。お持ちしております。

植木万紀 (旧姓 森) (平成元年卒)

◆12月9日に結婚し、現在は、広島市で産婦人科の主人と暮らしています。主婦業は思ったより忙しいので今は専業ですが、慣れてきたら、月並みですが翻訳の勉強でもしようかと思っています。これからもよろしくお願い致します。

神余実加 (旧姓 山本) (平成4年卒)

◆米国三菱商事シアトル支店在勤中(平成6年2月赴任)

辻恭平 (昭和46年卒)

◆1995年10月より1年の予定で、オックスフォードに留学しております。

山本真理 (昭和56年卒)

◆82-51クラスの純ちゃんこと加藤純一です。卒業直後に家庭の事情で姓が変わりました。

さて、今回皆さんにぜひお知らせしたいことがあって登場させていただきました。というのは、僕の中学からの趣味だった音楽活動の集大成といえるCDができたのです。全20曲を作・編曲し、シンセサイザーのクリアなサウンドで収

録しています。ボーカルには地元のアマチュア数名が参加、誰にでも分かるポップな曲と心なごむBGMが中心です。あくまで趣味ですので、採算無視の1,000円で皆さんにお届けします。下記の口座に振り込んでください。最後に近況をひとつ。6月に初めての子供が誕生する予定です。

郵便振替: 00720-0-4599

連絡先: 牧野純一

〒930 富山市五福5264-1
(TEL.0764-42-0703)

牧野純一 (旧姓 加藤) (昭和61年卒)

オール・ソフィアンス デーで会いましょう

1996年度SELDA

総会・懇親会の

お知らせ

日時: 1996年5月26日(日)

午後1時30分より

場所: 1号館 101教室

今年もSELDA総会を、来る5月26日(日)、オール・ソフィアンス・デーに開催いたします。総会では、活動報告、議案の承認の他、SELDAの今後の活動について、多くの方のご意見を伺いたいと思います。

また、総会後に、懇親会を予定しております。クラスメートの方々と声をかけあって、待ち合わせの場にご利用ください。飲み物、スナックを用意いたします。懐かしい先生方もいらっやいます。歓談をお楽しみにお出かけください。

お待ちしております。



英語学科卒業生が著した本

英語学科卒業生もすでに5,000名を越え、各業界、各地で活躍しています。その一端として、卒業生が著作、翻訳した本を、順次紹介いたします。

<著作>

- 「コミュニケーションの英語ー基本表現とその発想ー」 大内博著(昭和43年卒) 講談社現代新書
- 「恋愛の英語ー男と女の名文句ー」 大内博著(昭和43年卒) 講談社現代新書
- 「麦を踏む女」 今井恭子著(隅田恭子, 昭和47年卒) 関西書院
- 「東進式「英語」をはじめからていねいに問題集」(上)(下) 安河内哲也著(平成2年卒) 東進ブックス
- 「図解英語構文の基本ルール20」 滝北明著(昭和57年卒) 三省堂
- 「アメリカでホームステイする英語ー朝から晩まで、暮らしの必須英語教えますー」 田村智子著・監修(昭和60年卒) 南雲堂
- 「グローバル英語教育の手法と展開ーオーラルコミュニケーションへの応用ー」 藤田真理子(共著)(昭和57年卒) 三友社出版
- 「コミュニケーション不安の形成と治療」 近藤真治(昭和63年卒)/ヤン・インリン著 ナカニシヤ出版

<翻訳>

- 「ふくろうの叫び」(パトリシア・ハイスミス著) 宮脇裕子訳(昭和53年卒) 河出文庫
- 「今宵は浮かれて」(アリサ・クレイグ著) 宮脇裕子訳(昭和53年卒) 創元推理文庫
- 「呑めや歌えや」(アリサ・クレイグ著) 宮脇裕子訳(昭和53年卒) 創元推理文庫
- 「カーニバル・ナイト」(スー・ピーターズ著) 内藤文子訳(昭和58年卒) ハーレクイン社

マッケクニー名誉教授御逝去

英語学科で長年にわたり教鞭をとられてきたジョン・マッケクニー先生(82歳)が、1996年1月29日午前10時30分、心不全のため練馬区石神井のロヨラ・ハウスでご逝去されました。葬儀は、1996年2月1日午後1時30分から聖イグナチオ教会にてしめやかに行われました。ここに慎んでご冥福をお祈りいたします。

<略歴>

1913年アメリカ生まれ。ロヨラ大学大学院終了後、1947年に来日。1950年文学部英文学学科助教授、1957年教授に。1958年外国語学部増設により、外国語学部英語学科に移籍。特遇教授を経て、1984年に定年退職。

SELDAA常任委員(平成8年4月現在)

名誉会長/吉田研作(昭和47年卒)
 会長/座間由美子(昭和43年卒)
 副会長・事務局長/東郷公徳(昭和62年卒)
 副会長/池沢なるみ(昭和48年卒)
 会計/竹内り子(昭和48年卒)
 会報/佐藤誠一郎(昭和53年卒)
 大日方聖信(昭和62年卒)
 女性セミナー/安西徳子(昭和49年卒)

鈴木達也(昭和38年卒) 井波明夫(昭和39年卒)
 小林 修(昭和39年卒) 関 浩一(昭和39年卒)
 石川雅弥(昭和40年卒) 斎藤敬子(昭和48年卒)
 増田 光(昭和59年卒) 斎藤由美(昭和62年卒)

監査/菊谷秀子(昭和43年卒)
 井坂由美子(昭和47年卒)

SELDA女性セミナー

女性セミナーでは、毎月1回学内外からの講師をお招きして、個別のテーマで講演をしていただいています。今回は、最近のセミナーの要約を掲載いたします。

平成8年1月24日(水)

英語学科OGでもある翻訳家・谷口由美子先生(昭和47年卒)から、「大草原の小さな家の世界」という題で講演していただきました。テレビでおなじみのローラやその家族について、スライドも交えたとても興味深いお話で、晩年のローラの落ち着いたトーンの肉声のテープも聴かせていただきました。ローラは1885年に結婚しましたが、その時「夫に従います」と言わなかったそうで、当時としては大変知的な女性だったようです。

平成8年2月28日(水)

以前英語学科でもお教え下さっていた聖心女子大学教授・青木怜子先生に「世界の中の女性」という題で講演していただきました。女性の権利は人権の問題であること、そして、女性問題が現在、国連の最優先課題となっていることなど、熱っぽく語って下さいました。最後に、インドの奥地で、昼は労働に明け暮れる子供達が、夜になってやっと読み書きを習うため集まって来た時、その目がヒマラヤの星のように輝いていたこと—教育は希望であり、高等教育は希望を与える人になることではないでしょうか、と結ばれました。



青木怜子先生の御講演から

1月24日のセミナーの終了後、懇親会が開かれました。サンドウィッチとクッキーをつまみながら、集まった約30名が学年の枠を超えて、和やかなおしゃべりに花を咲かせました。

女性セミナーは、月一回自分の知的興味を満たすことのできる楽しい時間! 女性セミナーに通うようになって、仕事が見つかり、世界が広がった! そして、現在御両親の介護でお忙しい方からは、月一回のこのセミナーに来れることがどんなに大切な時間であるか…! というお話を聞かせていただきました。

自己啓発を求めて、仕事を求めて、あるいは、憩いの一時を求めて、皆様も是非一度参加なさいませんか。

●今後の予定

日時： 原則として毎月第4木曜日 午前10:30～12:00

場所： かつらぎ館地下ホール

会費： 3,000円/年 または 500円/1回のみ

連絡先： 世話人 49年卒 日岡久美子 03-3775-8988 渡辺まかや 045-361-4221

会計： 三好比呂子 03-3348-0285

●4月24日(水)

講師 Fr. W. カリー (比較文化学部長)

テーマ 「国際理解のための教育」

●5月22日(水)

講師 垣ヶ原美枝氏 (演劇通訳翻訳家)

テーマ 「戯曲翻訳—しゃべれる
セリフに訳す—」

●6月26日(水)

講師 Fr. C. ロベルジュ (元フランス語学科教授)

テーマ 「V.T.法を使った語学教育」

●7月10日(水)

映画鑑賞 「SHADOWLANDS」
—永遠の愛に生きて—

この映画と作家C.S.ルイスについて、9月にFr.P.ミルワードの講演を予定しています。

●異動通知にご協力ください。

ご住所、勤務先などに変更があった方、名簿の誤りを訂正される方、お名前の正しい読み方を知らせてくださる方は、英語学科同窓会事務局がソフィア会にお知らせください。また住所不明の方が多数いらっしゃいます。消息をご存知の方、情報をお寄せください。皆様のご協力をお願いいたします。

SELDAAより、募集とお知らせ

- SELDAAでは卒業生の方より、この会報に載せる記事を募集しています。近況や最近感じたことなど、なんでも結構です。原稿に写真を添えて、あるいは同封の葉書にご記入の上、お送りください。
- OB、OGによる趣味のサークルメンバーを募ります。グルメの会、ハイキングの会など、現在活動しているものから、これから設立を考えているものまで、何かございましたらご一報ください。
- この同窓会の常任委員として手伝ってくださる方を募集しております。ボランティアで私達と一緒に会を盛り上げてくださる方、ご連絡お待ちしております。

上記に関するご応募・お問い合わせは、お気軽にどうぞ。

連絡先； 英語学科事務室 東郷公德まで TEL.03-3238-3719 FAX.03-3238-3910

会費納入のお願い

本会の諸活動は卒業生の皆様からの会費の納入によって賄われています。同窓会活動のより一層の充実と活性化を図るために、ぜひ会費をお支払い下さいますようお願い申し上げます。会費の支払い方法には、毎年会費を支払う一般会員と、一括払いの終身会員の2通りがあります。初めて会費をお支払いになる際には入会金も併せてお支払い願います。金額は下記の通りです。同封の振替用紙にて最寄りの郵便局または銀行よりお支払い下さい。その際、ソフィア会会員番号を必ずご記入下さい。

入会金 : 1,000円

一般会員 : 年会費 2,000円(できれば3年分まとめて)

終身会員 : 一括払い 20,000円

〈あなたの会費納入状況〉

封筒の宛名ラベルの右上をご覧ください。

- ◆朱書きで "S" とあるのは終身会員であることを示しています。
- ◆朱書きの数字は、その年度の方まで会費が支払われていることを示しています。
- ◆数字の後に(1)とあれば、その年度は年会費の2分の1(1,000円)のみ支払われています。
- ◆「入」とあるのは、入会金は支払われているが、本年度の会費が未納であることを示しています。
- ◆朱書きが全くないのは、今まで一度も入金されていないことを示しています。ぜひこの機会にお支払い下さるようお願いいたします。

事務局長